

取組の名称		大日本印刷株式会社 市谷の杜	
活動主体（団体名）		大日本印刷株式会社	
活動主体（団体名）（フリガナ）		ダイニッポンインサツカブシキカイシャ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	DNPは、東京都新宿区の市谷地区で都市再開発を進めており、その一環で、人工地盤上の有効空地に、「都市における新しい森づくり」として「市谷の杜」を育てている。かつてこの地に広がっていた武蔵野の雑木林をイメージし、落葉広葉樹を中心に常緑樹を織り交ぜた多様性あふれる自然の森として、現在は総敷地面積の約3割に当たる15,000㎡を緑化。専門家による管理に加え、社員が日常的な観察や維持管理を進めており、植栽管理のタイミングの適正化や効率化、課題の発見と解決に役立っている。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://www.dnp.co.jp/media/detail/20173446_1563.html https://www.dnp.co.jp/media/detail/1190708_1563.html	
	③実施時期、頻度	通年、2015年から緑地を順次創出	
	④活動場所（所在地）	新宿区	
	⑤活動の規模（参加者数）	緑地の維持管理は、社員十数名が関与	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2008年	2023年10月	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現）	
		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減）	
		<input type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上）	
		<input type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上）	
		<input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下）	
		<input type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR）	
		<input type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み）	
		<input type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成）	
<input type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）			
貢献の内容 （自由記述）		①人間の幸福に対して	工場の大部分を地中化したことに合わせて2015年12月に広大な緑地を創出。「都会の中で四季を感じられること」、「地域に親しまれること」、「明るく安全であること」という3つの方向性を起点としている。 市谷地区は、長らく工場建物が中心であり、地域社会が活用する場は有していなかった。市谷の杜は、敷地内に多様な地形を形成するなど、自然に近い森を目指しており、現在では地域に根付いた緑地、地域景観に寄与した緑地として広く受け入れられている。また、大規模な緑地があることで、地域のヒートアイランド現象の緩和にも寄与している。
		②生物多様性に対して	約17,000㎡の敷地面積の3分の1に及ぶ約6,000㎡で、武蔵野の雑木林をイメージして落葉広葉樹を中心に常緑樹を織り交ぜた、多様性あふれる自然の森を創出し、植生は関東近県の地域性な在来種を用いることで生物多様性に配慮した緑化を行っている。樹木が根を張れる豊かな土壌を作るため、人工地盤上の土を、人工軽量土ではなく自然の土とし、その厚さを1.5m確保している。また、尾根や谷の部分、斜面など地形の起伏にあわせて、その環境に生育する植物を植栽し、武蔵野の雑木林の景観を形成している。当初植栽していなかった植物が自生するなど、緑地に日々の成長も確認されている。